

第3週の発生動向 (2007/1/15~2007/1/21)

1. 咽頭結膜熱については、八戸、むつ保健所管内において、第50週から**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、むつ保健所管内において、第49週から**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、**警報**が出されました。
4. 感染性胃腸炎については、**警報**は出されていないものの、横ばい状況にあることから、今後も引き続き注意が必要です。

(注: 感染性胃腸炎の警報開始定点あたり報告数の基準値は20、解除基準値は12です。)

第3週五類感染症定点把握

注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	1	0.07	1	0.07			1	0.14					3	0.05	2				1	0.08
(59) RSウイルス感染症			26	2.89			16	3.20					42	1.00	25					
(60) 咽頭結膜熱	1	0.11	3	0.33	14	1.56	1	0.20	5	0.83	4	1.00	28	0.67	12				1	0.13
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.11	11	1.22	12	1.33	1	0.20	4	0.67	22	5.50	60	1.43	8				10	1.25
(62) 感染性胃腸炎	23	2.56	34	3.78	27	3.00	11	2.20	40	6.67	50	12.50	185	4.40	-7	10	10.00	13	1.63	
(63) 水痘	15	1.67	28	3.11	14	1.56	1	0.20	4	0.67	3	0.75	65	1.55	-28			15	1.88	
(64) 手足口病	6	0.67			2	0.22			3	0.50	2	0.50	13	0.31	4	2	2.00	4	0.50	
(65) 伝染性紅斑	2	0.22	1	0.11	4	0.44			2	0.33	12	3.00	21	0.50	8				2	0.25
(66) 突発性発しん	4	0.44	3	0.33	1	0.11	1	0.20	4	0.67	3	0.75	16	0.38	1	2	2.00	2	0.25	
(67) 百日咳					1	0.11							1	0.02	1					
(68) 風しん															0					
(69) ヘルパンギーナ															0					
(70) 麻しん(成人を除く)															0					
(71) 流行性耳下腺炎	12	1.33	10	1.11	10	1.11	3	0.60	13	2.17	4	1.00	52	1.24	-15	1	1.00	11	1.38	
(73) 急性出血性結膜炎															0					
(74) 流行性角結膜炎			1	0.33	6	3.00							7	0.64	-3					
(82) マイコプラズマ肺炎					5	5.00					2	2.00	7	1.17	1					

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (小児科+内科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

感染症の窓

RSウイルス感染症

(respiratory syncytial virus infection)

弘前、五所川原保健所管内において、増加傾向を示しているため、今後の動向に注意が必要です(図1,2)。

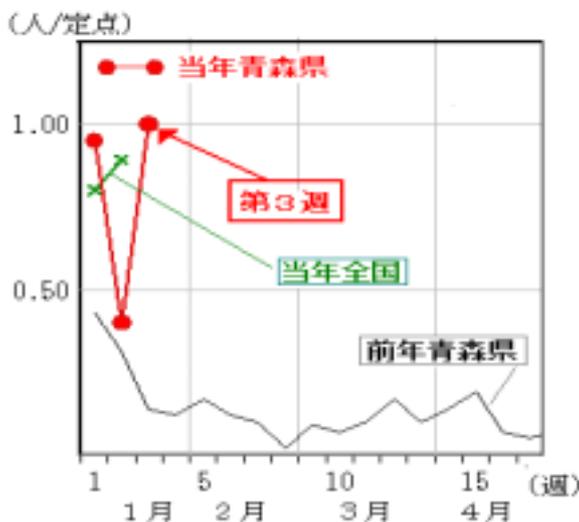


図1 第3週までの報告数推移

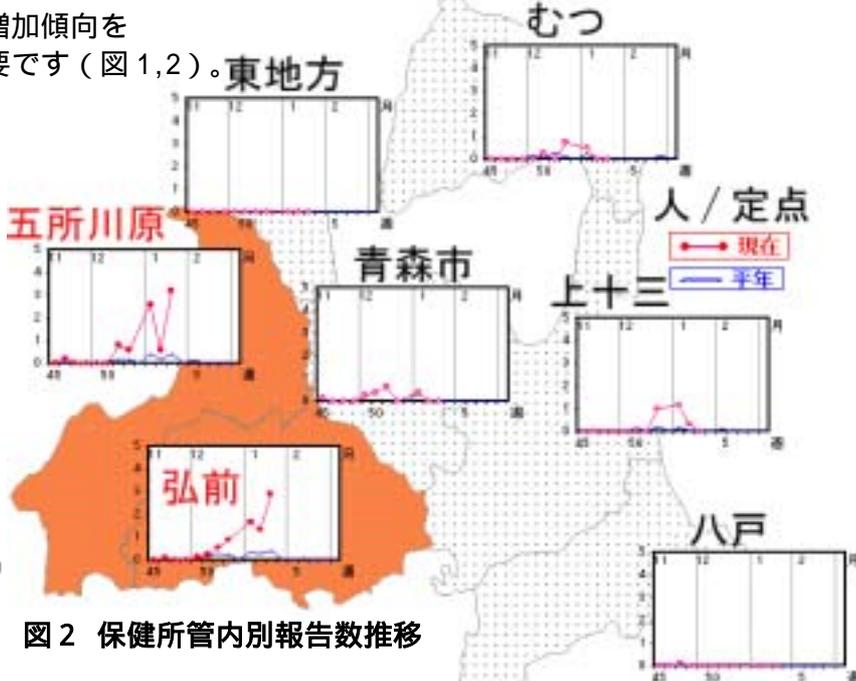


図2 保健所管内別報告数推移

本疾患の病原体は、RSウイルスです。鼻汁、喀痰などから、接触または飛沫によって経口的に感染することから、予防には、外出後のうがい及び手洗いの励行が極めて重要です。年長児や成人も感染しますが、**乳幼児**が感染すると**細気管支炎**、**肺炎**など**重症**になることがあるため、特に注意が必要です。